

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 11 月 13 日 (2014.11.13)

【公表番号】特表 2014-526822 (P2014-526822A)

【公表日】平成 26 年 10 月 6 日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-055

【出願番号】特願 2014-529691 (P2014-529691)

【国際特許分類】

H 0 3 M 11/04 (2006.01)

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/023 3 1 0 L

G 0 6 F 3/048 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソフトキーボードを有するコンピューティングデバイスを動作させる方法であって、

( i ) 前記ソフトキーボードとのユーザの対話又は ( i i ) 前記ソフトキーボードのレイアウト、のうちの少なくとも 1 つについての少なくとも 1 つの特性を決定するステップと、

前記ソフトキーボード上の複数のキーの各々について確率分布関数を決定するステップであって、前記確率分布関数を、前記少なくとも 1 つの決定された特性に基づいて決定するステップと、

少なくとも 1 つの処理回路上で動作する第 1 のコンポーネントにより、

前記ソフトキーボードを介して受け取られた第 1 の入力に応答して、前記確率分布関数に基づいて第 1 の確率のセットを生成するステップであって、前記第 1 の確率のセットは、第 1 のキーが前記第 1 の入力についてターゲットとされた確率を示す第 1 の指示と、第 2 のキーが前記第 1 の入力についてターゲットとされた確率を示す第 2 の指示とを含む、ステップと、

前記ソフトキーボードを介して受け取られた第 2 の入力に応答して、前記確率分布関数に基づいて第 2 の確率のセットを生成するステップであって、前記第 2 の確率のセットは、第 3 のキーが前記第 2 の入力についてターゲットとされた確率を示す第 3 の指示と、第 4 のキーが前記第 2 の入力についてターゲットとされた確率を示す第 4 の指示とを含む、ステップと、

前記少なくとも 1 つの処理回路上で動作する第 2 のコンポーネントにより、前記第 1、第 2、第 3 及び第 4 の指示に基づいて意図された単語を予測するステップと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記第 1 のコンポーネントは、ソフトキーボードインタフェースコンポーネントであり、

前記第 2 のコンポーネントは、テキスト予測コンポーネントである、請求項 1 に記載の

方法。

【請求項 3】

前記複数のキーの各々について前記確率分布関数を決定するステップは、タップ間の平均時間に基づいて前記確率分布の平均及び分散を決定するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記複数のキーの各々について前記確率分布関数を決定するステップは、前記ソフトウェアボードのスタイルに基づいて前記確率分布の平均及び分散を決定するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記複数のキーの各々について前記確率分布関数を決定するステップは、前記ソフトウェアボード上の基準位置に対する前記キーの位置に基づいて前記確率分布の平均及び分散を決定するステップを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

ディスプレイ上の位置においてアクティブ化の指示を提供するように適合されたディスプレイと、

処理回路であって、

前記ディスプレイ上の領域にソフトウェアボードをレンダリングし、

前記ソフトウェアボードへのタイピング速度をモニタし、

前記領域内で検出されるアクティブ化の各々について、該アクティブ化の位置に隣接する 1 組のキーのキーごとに、該キーがそのアクティブ化のターゲットとされた確率を提供し、

第 1 のキーが前記アクティブ化の第 1 のアクティブ化についてターゲットとされた確率を示す第 1 の指示と、

第 2 のキーが前記アクティブ化の前記第 1 のアクティブ化についてターゲットとされた確率を示す第 2 の指示と、

第 3 のキーが前記アクティブ化の第 2 のアクティブ化についてターゲットとされた確率を示す第 3 の指示と、

第 4 のキーが前記アクティブ化の前記第 2 のアクティブ化についてターゲットとされた確率を示す第 4 の指示と

に基づいて、意図された単語を予測する

ように適合された処理回路と

を備える、コンピューティングデバイス。

【請求項 7】

前記確率は、前記ソフトウェアボードのレイアウトに更に基づく、請求項 6 に記載のコンピューティングデバイス。

【請求項 8】

前記処理回路は更に、前記ソフトウェアボード上の複数のキーの各々について、ある位置において検出されたアクティブ化がそのキーをターゲットとするユーザによって引き起こされた確率を表す、確率分布関数を算出するように適合され、

前記処理回路は、複数の隣接するキーに関連付けられた前記確率分布関数に基づいて、前記提供される確率を決定する、請求項 6 に記載のコンピューティングデバイス。

【請求項 9】

確率分布関数を算出することは、前記ユーザの前記タイピング速度に基づいてガウス分布のパラメータを選択することを含む、請求項 8 に記載のコンピューティングデバイス。

【請求項 10】

前記確率は、前記ソフトウェアボード上の隣接するキー間のガターのサイズに更に基づく、請求項 6 に記載のコンピューティングデバイス。